

全国への道 その4

10月の10日は、「体育の日」記念体育大会です。

昔、バスケットボール4試合と、マイルリレー400メートルを走り、全身がボロボロになったことを記憶しています。足は速かったのですが、3年生は、陸上部を引退した現役も出場できたので、とても白熱した記憶があります。体育大会の進行や大会の運営を生徒が独自で行うようにした始まりが、昭和52年です。とても楽しく運営でき、友人たちからも評判が良かったのを思い出します。

今も、生徒会が主催して大会が運営されています。生徒会の改選が行われてすぐに行う大きな行事です。新しいメンバーにとって大変な行事ですが、準備は着実に進んでいることを確認しておりますので、きっと成功すると思います。

体育大会が終わると、まさに3年生にとっては、眼の色を変えて受験に突入しなければなりません。

70日後の1月18日には、センター試験、100日後には、国立の2次試験前期です。

ただし、学習の総量を増やしながら学習した内容を何度も何度も振り返らなくてはなりません。この季節は、忍耐の季節です。1に忍耐2に忍耐、3、4がなくて5に忍耐の季節です。こらえてこらえてものにしていく日々が重要なのです。全国の受験生が行っていることです。

スタートダッシュが良くても、最後の直線に入ってから、じりじりとした継続的な追い上げが最後に爆発力となって追い抜く力となるのです。

そのためには、毎日のルーティンを大切にすること、計画的な時間の使い方をする、友人とともに進むこと、食事を大切にすること、集中的な睡眠時間を確保すること、風邪をひかないこと、遊ばないこと、ゲームやSNSにうつつを抜かさなないこと、一つ一つを大切に目標をきっちり見定めること、教員を信じる、等を自分に課して進んでください。

たどり着くためには、毎日の歩みがないといけません。遠い道のりだからといって休めばそれだけ遅れるのは必定です。高校入試ではないのです。50万人との戦いです。忘れずに一つ一つ実行していくのみです。

磐城高校全員が船団となって、目標を定めて、一丸となって進みましょう。